

# Mランドニュース Vol.163

## 丹波ささ山校 令和2年11月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569  
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹  
<https://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

### 今月の言葉

「たのしい」とは何か。  
苦しいことがあるから、たのしい。  
ひとは苦しかったことを、たのしい  
思い出として、いつまでも覚えている。

平成17年6月18日

故 小河 二郎前会長 弊社講話より

### 毎日が切磋琢磨!

十月二十二日(木)、株式会社そうじのカ 小早祥一郎氏をお招きし、そうじのリーダー研修会を行いました。

JR篠山口の改札口に、颯爽とお見えになった小早先生に、この日も新しい発見や気付きを期待し、お迎えにあがりました。

小早先生のご指導を受けるのは約十か月ぶりです、これまで続けてきた各班の進捗状況を、映像などで報告し皆で共有しました。

一班の担当エリアは本館ロビーで、毎日多くのお客さまが行き来されるところ。したがって、床のタイルも汚れやすく、二年毎に電動ポリッシャーを使用し、班全員で大掛かりな床磨きを行っています。



お客さまへの影響を最小限に作業

また受付カウンター下も靴の跡が残るなど、こまめな手入れが欠かせません。

材質はレザーで、チームでさまざまな洗剤をためして、一番効果のある洗剤や方法を見つけ出します。



道具や洗剤を試行錯誤しながら

二班は第一・第二教室を担当しており、取り組んでいるのは机下の床磨きで、他の業務に追われ、全メンバーがそろわなくても、毎朝、誰かがコツコツと磨いています。



机の下は頭上に気を付けて

三班はインストラクター室全般で、モノの整理整頓と床磨きです。

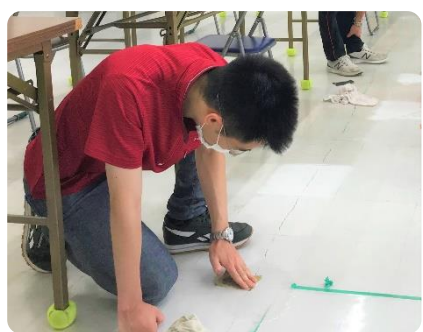
その中で、机の上は仕事で使うもの以外置かない、いわゆる「机上ゼロ」がルール。

しかし、気を緩めれば一つまた一つと要らないものが増えていきます。朝礼の際、職員士の気を引き締めるのも、また活動。



退社時は机上ゼロ

四班は第四教室で、床磨きは、ほんの些細なタイルの傷も残さず、新品のように仕上げ、他の班の床磨きと一線を画しています。



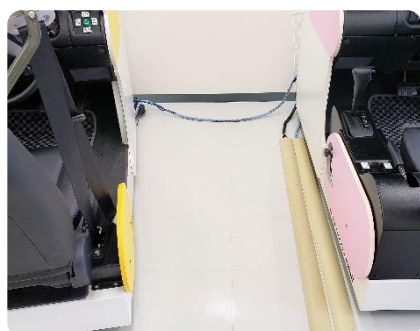
目の前のタイルはゲストへの見本

またこの教室の床磨きでは、朝のボランティア活動「校内清掃に学ぶ会」においても利

用され、ゲスト自身にも実践の成果を学ぶ場ともなっています。

五班はカートトレーナー室の床磨きに取り組んでいきます。技能教習一回目に使用する、十台の模擬運転装置が設置された部屋です。

かなりの重量で定位置化されていますので、「見えない装置の下は磨かないでしょ」と思いきや、メンバーの総意で、「見えないからこそやらねば!」と取り組んだ結果、足を踏み入れることすら気がつかうほどの美しい仕上がりととなり、これには小早先生から「凄いですね!」とお褒めのことばをいただきました。



チームの力が輝きとなって

つづいて小早先生より、他業種の企業の取り組みを映像で紹介していただき、自社しか知らない私たちにとても良い刺激となりました。



他社の活動に興味津々

後半は各班の活動場所を見てまわり、小早先生より進め方などのアドバイスをいただきました。

この研修で小早先生が繰り返し言われたのが、「毎日見ていると疑問にならない、気付き大切さを持つこと」で、私たちが日ごろ何気なく見過ごしている点を、現場を通して教えていただきました。



いつもとちがう目線で

この取り組みは、そうじを通して社員間のコミュニケーションを高め、気付きと工夫を養います。

「すべてはゲストのために」

## 交通事故ゼロをめざして

共育チーム 南勝 宏幸

十月二十一日(水)、関西電気保安協会様からのご依頼で、新たに運転免許を取得された三名様の、安全運転講習会を実施しました。



皆さん、熱心な姿勢でした

若いとは言え、これからは社会人であるとともに、社名を背負って運転する責任感と、自分自身の安全はもちろん、地域の人々に対する思いやりの運転が求められます。

技術面だけでなく、「譲る心」が事故ゼロにつながる大切さもお伝えしました。

当初、緊張されたご様子でしたが、Mランドの雰囲気にも少しずつ慣れ、マスクの下から笑顔も見せられるようになりました。

秋晴れのもと、フレッシュな皆さまと有意義な時間を過ごさせていただきました。

また、二十八日(水)には昨年に引き続き、神戸地方法務局柏原支局様からのご依頼で、同所運転を担当される方の、安全運転講習会を実施しました。



願いは一生無事故

運転が「好き」で現在のお仕事に就かれたとお聞きしました。運転は、知識と技術だけでなく自分の性格を知ることも大切です。慣れや思い込みだけではなく更なる安全運転を願っています。これからも「知・好・楽」で生涯安全運転を共に創りましょう。

## 言うは易く行うは難し

(株)タニサケ 松岡浩会長は、十月四日に「成形の功徳」という小冊子を発行されました。松岡会長の経験に基づいたお話で、「人」としてあるべき姿、考え方を教えていただきます。その中で、「言うは易く行

うは難し」のお話は、私の考え方を変えたもので、是非、皆さまにもご紹介させていただきたいと思えます。

孔子は「一生の中で最も大切なことは「恕」(思いやり)である」と言われました。自分が人からされたくないことは、人にしないということです。

創業期のある日のこと、弊社に届けられた給食弁当の中にムシが入ってしまいました。対応した社員が即座に給食会社の経営者を呼びつけて、始末書を出せと言いました。たまたま出張中だった私は、帰ってこの報告を聞き、びっくりしたのです。そして翌日、すぐに会社に参りました。

経営者を探したら、たまたま風邪で布団の中にふせておられました。その枕元に「昨日の件は事故です。私どもが始末書を書いたと言ったのは、とんでもないことです。お許しください。するとその経営者は、あふれる涙を出して「悪かった」と言ってくれたのです。

その涙を見て、私はすぐに会社に戻り、みんなを集めてこうお願いしました。「どうか今日のお弁当は、昨日と同じように注文してほしい」と。幸いにも同じ量を注文することができました。

「地球に優しく」とカッコよく掲げる会社は多くあります。でも、もっと大切にしないといけないのは、弱い人に対する優しい思いやりではないでしょうか。会社に入りされる仕入れ先の人、出前や荷物の配達をしてくださる人。社会的立場の弱い人に対する態度ほど、その会社の思いやりのレベルを表すものはないと思うのですが、いかがでしょうか。

## 行ってきました

二輪指導員 前川 昂希

このたび大型自動二輪の指導員資格取得の機会をいただき、十月十四日から五日間、安全運転中央研修所へ行ってまいりました。

全国から集まった二十九名が寝食を共にし、大型自動二輪車に対する知識と技

術を高め、最終日には技能審査と、補完式などのペーパー試験を受けます。一つの課題に対し、東北から九州までの指導員が熱く語るの、中央研修所ならではの光景です。



ころざしを持って全国から

そんな中、特に印象に残ったのは、過去に起きた二輪教習中の事故事例です。

運転に慣れないゲストに対し、細心の注意を怠らず、決して無理をさせないよう、二輪教習に従事する者として身が引き締まりました。

ゲストに「バイクの楽しさ」だけでなく、より高いレベルでの「危険予測」はもちろん、「思いやりの運転」こそが、他の人や自分の命を守ることにつながるといってお伝えしなければならぬと強く感じました。

五日間の研修を終えて、「学んだ経験をゲストのため

に」と、はやる気持ちをおさえ、中央研修所をあとにしました。

## 編集後記

NPO法人 日本を美しくする会「関西ブロック大会」での講演会で、智辯和歌山高等学校 野球部名誉監督 高島仁氏のお話を拝聴しました。

着任当時、弱小野球部で、県内のどの野球部にも練習試合を受けてもらえなかった野球部が、今では全国制覇の名門校にまで。

長年のご努力の最後に強調された「あいさつ」と「掃除」がしっかりとできる生徒に。

「いづれ社会に出ていく生徒たちが、野球を通して社会に役立つ人になってほしい」というおことが心に響きました。(徹)

## 【掃除に学ぶ会】のご案内

十一月八日(日)八上小学校 東トイレ  
午前八時～午前九時 担当 前川  
十一月十九日(日)徳山中学校 運動場トイレ  
午前八時～午前九時 担当 中野

私たちと一緒にトイレ掃除をしましょう。ご参加いただける方は井本までご連絡ください。